

6 消安第 7443 号
令和 7 年 3 月 14 日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局
動物衛生課長

韓国における口蹄疫の発生について

本日、韓国農林畜産検疫本部から、全羅南道靈岩郡の肉牛農場（韓牛、約 180 頭）で口蹄疫の発生が確認された旨の公表がありました。同国では、本病の拡散防止のため、発生農場における殺処分等の防疫措置、周辺地域における集中的な消毒、全国の偶蹄類農場とと畜場・飼料工場など畜産関係施設の従事者及び車両に対する一時移動中止、発生地域における緊急ワクチン接種等が講じられています。

韓国においては、ワクチンによる口蹄疫の発生予防が講じられています。が、今回の発生は 2023 年 5 月（O 型）以来となります。

口蹄疫等の防疫対策の徹底については、「年末年始及び旧正月の時期における家畜防疫対策の徹底について」（令和 6 年 12 月 16 日付け 6 消安第 5216 号農林水産省消費・安全局長通知）によりご指導いただいているところですが、我が国と地理的に近く人的交流も多い同国での発生を踏まえ、改めて家畜所有者や畜産関係者に対し、畜産関係者の海外渡航の自粛等、農場における病原体侵入防止対策の徹底、飼養家畜の健康観察、異状を認めた場合の早期通報の徹底等について注意喚起及び御指導いただくとともに、発生に備えたまん延防止対策の体制整備に万全を期すようお願いします。

なお、農林水産省においては、出入国関係機関、空港・港湾関係者、旅行者等と連携して水際対策の一層の徹底を図るとともに、畜産関係団体に注意喚起を要請していることを申し添えます。

令和7年3月14日
動物衛生課国際衛生企画班

件名：全羅南道靈岩郡の韓牛農場で口蹄疫発生

掲載：韓国農林畜産検疫本部プレスリリース

日時：2025年3月14日付

URL：<https://www.mafra.go.kr/FMD-A12/2227/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGRk1ELUFJMiUyRjM5NSUyRjU3MzU0NiUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

口蹄疫発生対策中央本部（本部長・ソン・ミリョン農林畜産食品部長官、以下対策中央本部）は3月14日（金）、全羅南道靈岩郡（チョルラナムどう・ヨンアムぐん）所在の韓牛農場（180頭あまり飼育）で口蹄疫の疑い症状に対する通報があり、精密検査を実施した結果、口蹄疫の発生が確認されたと発表した。

対策中央本部は口蹄疫の発生を受け、危機警報を従来の関心段階から発生し、隣接市郡（8市郡）は深刻段階、その他の全地域は注意段階に格上げした。

口蹄疫の拡散防止のため、当該農場に初動防疫チーム・疫学調査班を派遣し、外部者・家畜・車両の農場出入りを統制し、疫学調査を実施しており、当該農場で飼育中の牛は緊急行動指針(SOP)などに従って殺処分する計画である。

発生地域の汚染を防ぐため、広域防除機、防疫車など利用可能な消毒資源(81台)を動員し、靈岩郡と隣接する7市・郡(康津・羅州・木浦・務安・長興・海南・和順)にある偶蹄類農場及び周辺道路を集中的に消毒する。

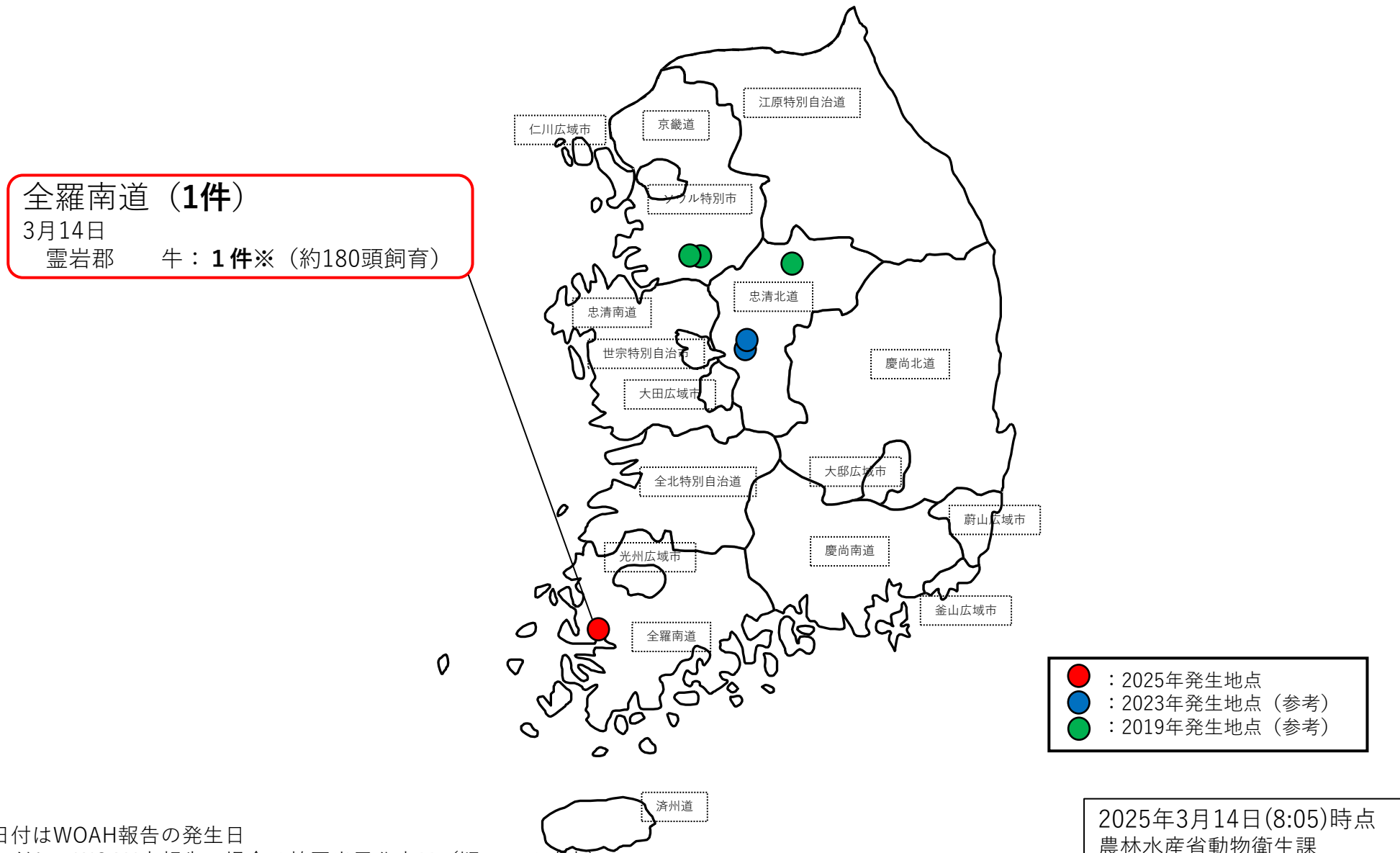
農場間の水平伝播を遮断するため、3月14日(金)8時から3月16日(日)8時までの48時間、全国の偶蹄類農場とと畜場・飼料工場など畜産関係施設の従事者及び車両に対する一時移動中止を発令し、農食品部及び検疫本部など中央点検班(3班、6名)を投入して履行実態を点検する。

靈岩郡と隣接する7市・郡全体の偶蹄類農場(9,216戸、1,157千頭)に対して緊急予防接種及び臨床検査を実施し、その他全国の牛・ヤギ農場対象の口蹄疫ワクチンの一斉接種(4.1.～4.30.)を3月14日から3月31日までに繰り上げて施行する。

全国の偶蹄類農場を対象に、自治体及び家畜衛生防疫支援本部において電話予察を実施する。

発生対策中央本部は「口蹄疫の拡散防止のため、関係機関及び自治体は迅速な殺処分、精密検査、集中消毒など防疫措置に総力を傾けること」を強調し、「農場内・外部消毒、畜舎出入り時の消毒および長靴履きなど基本的な防疫規則を遵守すること」を呼びかけた。

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月以降）



注：日付はWOAH報告の発生日
ただし、WOAH未報告の場合は韓国当局公表日（疑い又は確定）
とし、件数の後に※マークを記載
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数